

科目名	開講時期	開講学年	必修/選択	単位	時間
リプロダクティブヘルス看護学実習	前後期	3年	必修	2単位	90h
担当教員名	メールアドレス	オフィスアワー			
内宮律代 他	ritsuyo.uchimiya@tohto.ac.jp	学生の申し出により時間調整			
授業の概要					
<p>妊婦(胎児)、産婦、褥婦および新生児の特徴を総合的に理解し、ウェルネスの視点から対象に適切な看護援助を実践するために必要な基礎的能力と基本的技術ならびに看護専門職者としての基礎的態度を修得する。また、多様なライフサイクルにある女性の理解と必要な看護についても学習する。</p> <p>※この科目は看護師・助産師としての実務経験のある教員による授業科目である。看護の現場の視点に立って、実習を展開する。</p>					
キーワード	到達目標				
周産期看護 ウェルネス Evidence-Based Nursing ヘルスプロモーション 母子保健 多職種連携・協働 女性の健康	<p>本科目のカリキュラムポリシー上の位置づけは以下の通りである。</p> <p>NN-DCP2-1-2、NN-DCP2-1-3、NN-DCP2-2-1、NN-DCP2-3-2 に該当する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 妊婦(胎児)、産婦、褥婦、新生児の看護に必要な専門的知識・技術・態度を統合できる。 妊婦(胎児)、産婦、褥婦、新生児の身体的・心理的・社会的特性と生理的变化について理解した上で、ウェルネスの視点と科学的根拠に基づいた看護過程を展開できる。 妊婦(胎児)、産婦、褥婦、新生児のヘルスプロモーションを理解し、看護援助が実践できる。 周産期における親子の愛着形成や役割獲得等の発達課題と家族に及ぼす影響を理解し、家族の発達を支える看護を説明できる。 母子の健康生活について理解し、それを支える多職種連携・協働や母子保健サービスについて説明できる。 対象となる母子の過去・現在・未来と切れ目ない支援を行うために、リプロダクティブヘルス/ライツの視点から女性の一生を通じた健康を支援する看護について考察できる。 実習を通して看護専門職としての自己の在り方を省察し、看護の質の向上に向けて自己研鑽できる。 				
学習内容					
<p>* 学生 1~2 名が順調な経過をたどると予測される褥婦と新生児の 1 組受け持ち、看護過程を展開する。</p> <p>* 分娩経過に応じた産婦への看護援助や正常分娩もしくは帝王切開分娩に立ち会う。</p> <p>* 産科外来もしくは助産師外来において、妊婦健康診査や保健指導、母親学級の見学をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生が妊婦(胎児)、産婦、褥婦、新生児の看護援助するにあたっては、同意を得ることが原則である。 ・ 状況により、行動計画を変更することがある。 <p>詳細は『2026 年度リプロダクティブヘルス看護学実習 実習要項』を参照すること。</p>					
受講要件					
<p>「基礎看護学実習Ⅱ」と「リプロダクティブヘルス看護学概論」「リプロダクティブヘルス看護学援助論」を修得していること。</p>					
レポート(事前学習)	その他		合計		
20%	80%		100%		
教員からのメッセージ					
<p>リプロダクティブヘルス看護学関連はもちろん、これまで学んだことを復習して実習に臨んでください。</p>					